

調査概要

1 調査目的

本調査は、三島市在住の満 20 歳以上の男女個人を対象に、居住環境に対する意識や市政に対する要望などの意見を聴取することにより、今後の行政施策の基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 三島市全域
- (2) 調査対象 三島市在住の満 20 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000 人
- (4) 抽出方法 単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 平成 16 年 7 月 16 日～7 月 31 日

3 調査内容

調査内容は、本人の属性ほか、以下の 3 項目である。

- (1) 居住環境について
- (2) 魅力ある中心市街地の活性化について
- (3) 市議会広報事業について

4 回収結果

回収結果は、以下の通りである。

- (1) 回収数 1,018 人(回収率：50.9%)
- (2) 有効回収数 1,014 人(有効回収率：50.7%)

有効回収数は、回収はされたが、記入のない(または少ない)調査票を除いて集計した数。

本報告をみる際の注意事項

- (1) 比率は全て百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数は、調査数(N)と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- (3) 質問の終わりに(M.A.)とあるのは、一人の対象者が2つ以上の回答をしてもよい設問であり、その百分比の合計は100%を超えることがある(M.A.=Multiple Answersの略)。
- (4) 本調査は、単純無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$= 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

: 標本誤差
 n : 標本の大きさ
 P : 回答比率

回答者総数(1,014人)を100%とする場合の質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとすると、母集団(20歳以上の三島市民全体)の回答比率は、46.86%~53.14%の間であると推定される。

回答比率	標本誤差
50%	±3.14%
60%または40%	±3.08%
70%または30%	±2.88%
80%または20%	±2.51%
90%または10%	±1.88%